

# 中部防災だより NO.12 令和4年夏号

- トピックス  
・土砂災害から身を守ろう  
・【特集】知っていますか「わたしの避難計画」  
・救命処置を覚えよう



編集・発行  
静岡県中部地域局  
藤枝市瀬戸新屋362-1  
藤枝総合庁舎本館2階  
TEL 054-644-9104  
Mail chubu-kiki@pref.shizukag.jp

## 災害から身を守ろう

近年、全国各地で豪雨による土砂災害や河川氾濫が発生し、尊い命や財産が奪われています。梅雨の時期は、大雨が降り、災害の危険性が高まります。そこで、災害から自分や家族の『命』を守るために、どのような行動をとればよいか、そのための知識と方法を紹介します。

### 【土砂災害防止月間（6／1～6／30）】

毎年6月は土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、『土砂災害防止月間』と定められています。そこで、「土砂災害とは何か」「土砂災害が起こりやすい場所はどこなのか」「自分の身は安全か」ということについて知識を増やしたり調べたりしてみましょう。

### 【土砂災害とは何だろう？】

土砂災害には「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の3種類があり、どれも人の命を奪うほどの力があります。



- 〈前兆〉  
・川の水が急なくなる。  
・川が急にごったり、流木が流れてくる。  
・地鳴りや山鳴りがする。  
・土の変なにおいがする。  
・川の中で岩がぶつかる音がしたり、火花が見えたりする。

〈みんなを守る施設〉

透過型砂防堰堤



土石流が起きたときに、大きな岩や木が混ざった土砂をくい止め、下流への被害を防ぐ施設です。

### 地すべり



- 〈前兆〉  
・わき水が増える。  
・地面にひび割れができる。  
・井戸水がにごる。  
・木がさける音や木の根が切れる音がする。

### がけ崩れ

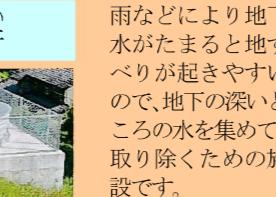


- 〈前兆〉  
・がけの上の木がゆれたり、かたむいたりする。  
・がけから小石がパラパラ落ちてくる。  
・がけにひび割れができる。  
・がけから急に水がわき出る。

透過型砂防堰堤

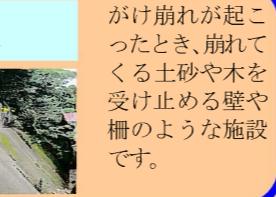
土石流が起きたときに、大きな岩や木が混ざった土砂をくい止め、下流への被害を防ぐ施設です。

### 集水井



雨などにより地下水がたまると地すべりが起きやすいので、地下の深いところの水を集め、取り除くための施設です。

### 擁壁工

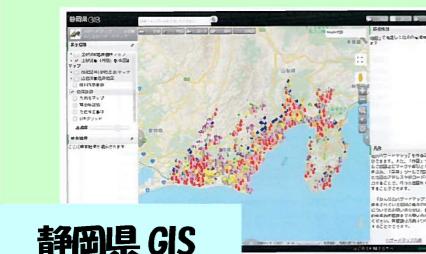


がけ崩れが起きたとき、崩れてくる土砂や木を受け止める壁や柵のような施設です。

### 【自分がいる場所は安全！？】

自分がいる場所が安全かどうか、HPやアプリで「土砂災害警戒区域」を確認してみましょう。

※「土砂災害警戒区域」とは、土砂災害が起きたとき、崩れた土砂などによって生活している人達が危険となる場所のこと。



静岡県GIS



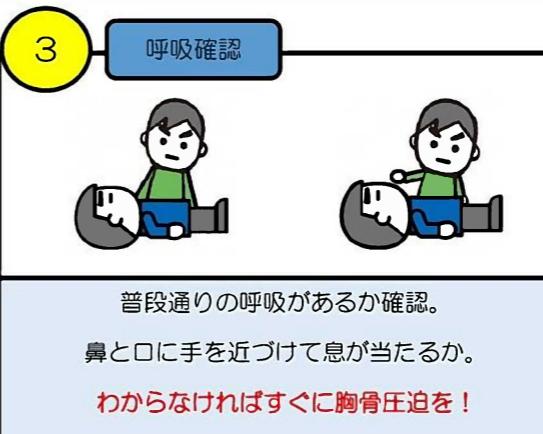
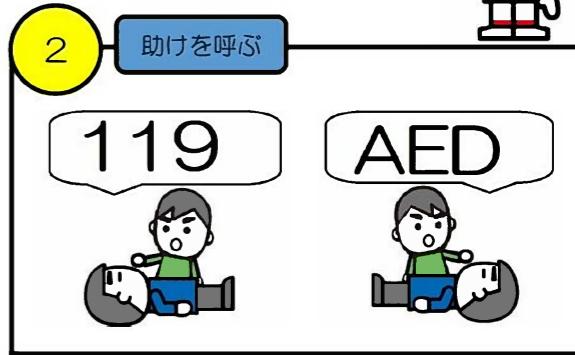
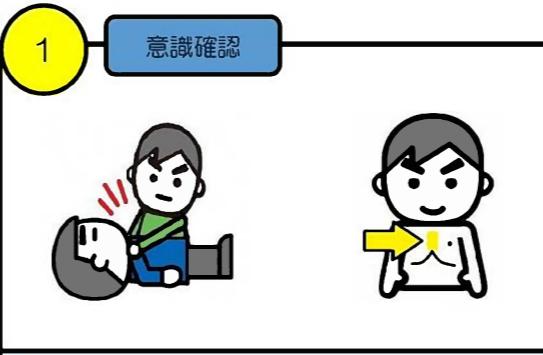
ハザードマップ



静岡県防災

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課 HP より

## 救命処置を覚えよう



志太消防本部  
Shida Fire Dept



各種情報は志太消防本部のホームページをご覧ください

記事作成：志太消防本部警防課

知っていますか？

# わたしの避難計画



毎年のようにニュースになっている河川氾濫や土砂災害。どこで発生するか分からない地震。大きな被害をもたらしかねない津波。わたし達の身の回りには様々な災害リスクが潜んでいます。静岡県では、避難行動の第1歩として「わたしの避難計画」作成の取組を進めています。

## 「わたしの避難計画」って何？

一人ひとりの「いつ」「どこに」避難するのかをまとめた計画です！

例えば、こんなことを確認していきます。

- 大雨や地震、津波が発生したら、自宅はどうなる？
- 「いつ」、「どこへ」、「誰と」避難をしたら良いの？
- 避難に時間がかかる人はいるかな？
- 情報はどうやって集めるんだろう？
- など



## 「わたしの避難計画」を作ると・・・

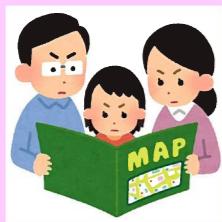
### ①自分や家族のリスクがわかるようになります。

- 災害時に自宅はどうなるか
- 周りの地形はどのようにになっているか
- 避難すべきか、自宅に留まるべきか
- など

### ②逃げるタイミングが整理できるようになります。

- 避難を始めるタイミング
- 必要な情報の種類やその集め方
- 避難先の状況
- など

### ③事前に想定しておくことで、いざという時に慌てずに行動することができます。



## 一 口 メ モ

### ☆「マイ・タイムライン」との違い

「わたしの避難計画」に似た取組として、「マイ・タイムライン」という行動計画もあり、以下のような特徴があります。

- 河川氾濫等による風水害を対象  
→「わたしの避難計画」は土砂災害、地震、津波なども対象
- 避難行動全般（準備～避難完了まで）を対象  
→「わたしの避難計画」は避難のタイミングのみを対象

**「わたしの避難計画」は  
避難行動の第1歩に最適♪**

## 「わたしの避難計画」の作成例

現在、市町ごとに分かりやすい作成手順が載っているガイドラインを作成中です。

### 【避難計画の作り方】

○点線内を記入しよう。

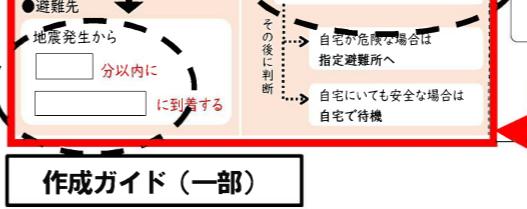
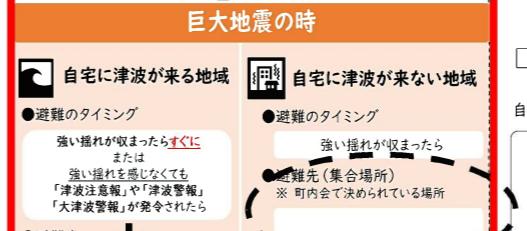
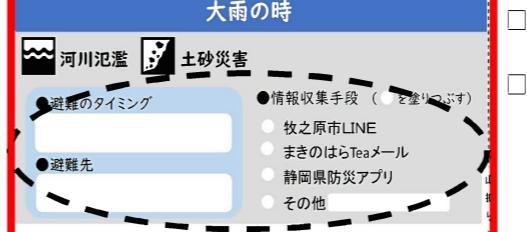
- 避難のタイミング
- 避難先
- 情報収集手段

○「作成ガイド」を確認しながら、作成しよう。



## 「わたしの避難計画」

冷蔵庫や玄関など  
目につく場所に  
貼っておこう！

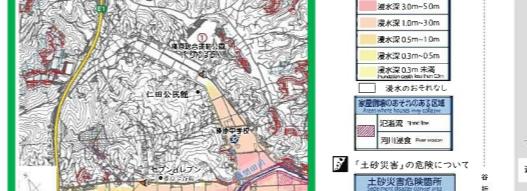


### 作成ガイド（一部）

大雨の時 ( 河川氾濫・土砂災害 )

手順① 大雨の時、自宅はどうなる？

・自宅に災害の危険があるか  
マップで確認しよう！



～作成ガイドで確認したことをメモしておこう～

□ 河川氾濫による危険  
(いずれか1つに□をつけておく)

□ 土砂災害による危険  
(いずれか1つに□をつけておく)

□ 家屋流出のおそれあり  
(家屋倒壊のおそれのある区域に居住)

□ 土砂災害のおそれあり  
(土砂災害警戒区域に住んでいる)

□ 滝水のおそれあり  
(河川の浸水想定区域に居住)

□ 危険なし

□ 5m~10m未満

□ 3m~5m未満

□ 0.5m~3m未満

□ 0.5m未満

□ 5m未満

□ 3m未満

□ 0.5m未満

□ 危険なし

□ 自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号など)

巨大地震に備え、1週間分の  
水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

赤の枠内が書き込めたら  
完成！！

### 【作成ガイドの使い方】

○ハザードマップで  
自宅のリスクを  
確認しよう。(左側)

○自分の状況に合った  
避難先、タイミングを  
確認しよう。(右側上部)

○情報を入手する手段を  
確認しよう。(右側下部)

自宅周辺のハザードマップ  
が確認できます！

## ★完成したら…★

冷蔵庫や玄関先などのよく目につく場所に  
貼っておきましょう。

★ふじっぴーも作ってみたよ♪ ⇒

